

「 美術探究 」 シラバス

学科	普通科	学年	3 年	類型	I ・ II	組	1 ・ 2 組	単位数	2
使用教科書									
副教材等									

1 学習の到達目標

- ① 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表すことができる。
- ② 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、工芸の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりする。
- ③ 美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組むことができる。

2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期の学習内容のまとまりごとに、下記の評価項目により評価をする。学年末において、観点別評価を5段階の評定に総括する。

知識・技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表しているか。	(1) (2) (3) (6)
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、工芸の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしているか。	(1) (2) (3) (4) (5) (6)
主体的に学習に取り組む態度	美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り込もうとしているか。	(1) (4) (5) (6)
評価方法	主な評価項目	
授業観察	(1) 制作の状況 (2) 計画的な制作（発想から完成まで）	
作品	(3) 作品の完成度 (4) 独創的な表現	
課題の学習状況	(5) 夏季休業中の課題	
鑑賞レポート	(6) 鑑賞の感想や意見	

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目
一 学 期	オリエンテーション 石膏デッサン 水彩画（静物）	・受験時の実技内容を確認し、計画を立てる。 ・石膏デッサンの基礎を学び、形状や陰影を表現する技術を高める。 ・透明水彩絵具の特性を理解し、水彩画の基礎を学び、表現する力を身に付ける。	(2) (2) (3) (6) (2) (3) (4) (6)
二 学 期	夏季課題（デザイン） デッサン（構成） 鑑賞① 自由制作④ （デッサン・着彩他） 鑑賞②	・主題やメッセージが鑑賞者に伝わる表現を考えて制作する。 ・以外の題材で、これまで学習した知識や技法を生かして制作する。 ・西洋美術の変遷や芸術家の生涯などについて学習し、感想や意見を発表する。 ・自由制作①②③で習得した技術を生かし、更に完成度の高い作品制作を目指す。 ・日本の美術について鑑賞し、時代背景との関係や日本人特有の美意識などについて考えを深める。	(3) (4) (5) (2) (3) (4) (6) (6) (2) (3) (4) (6) (6)
三 学 期	自由制作⑤ （デッサン・着彩他） 1年間のまとめ	・今までに学習した知識や技法を生かして制作する。 ・1年間を振り返って自己評価をする。	(2) (3) (4) (6) (6)

備考 評価項目の（１）については、全ての単元において用いる。